

一般の遺伝子治療に対する意識調査結果サマリー



ファイザー株式会社
2024年10月28日

調査概要

- **調査期間**

2024年9月13日～9月18日

- **調査対象**

47都道府県在住の20代以上の男女

（スクリーニング調査10,000人、本調査829人）

※医薬関連業種や遺伝子治療に関わる患者さん・ご家族を除いた一般の方のみ

- **調査方法**

インターネット調査

調査結果サマリー

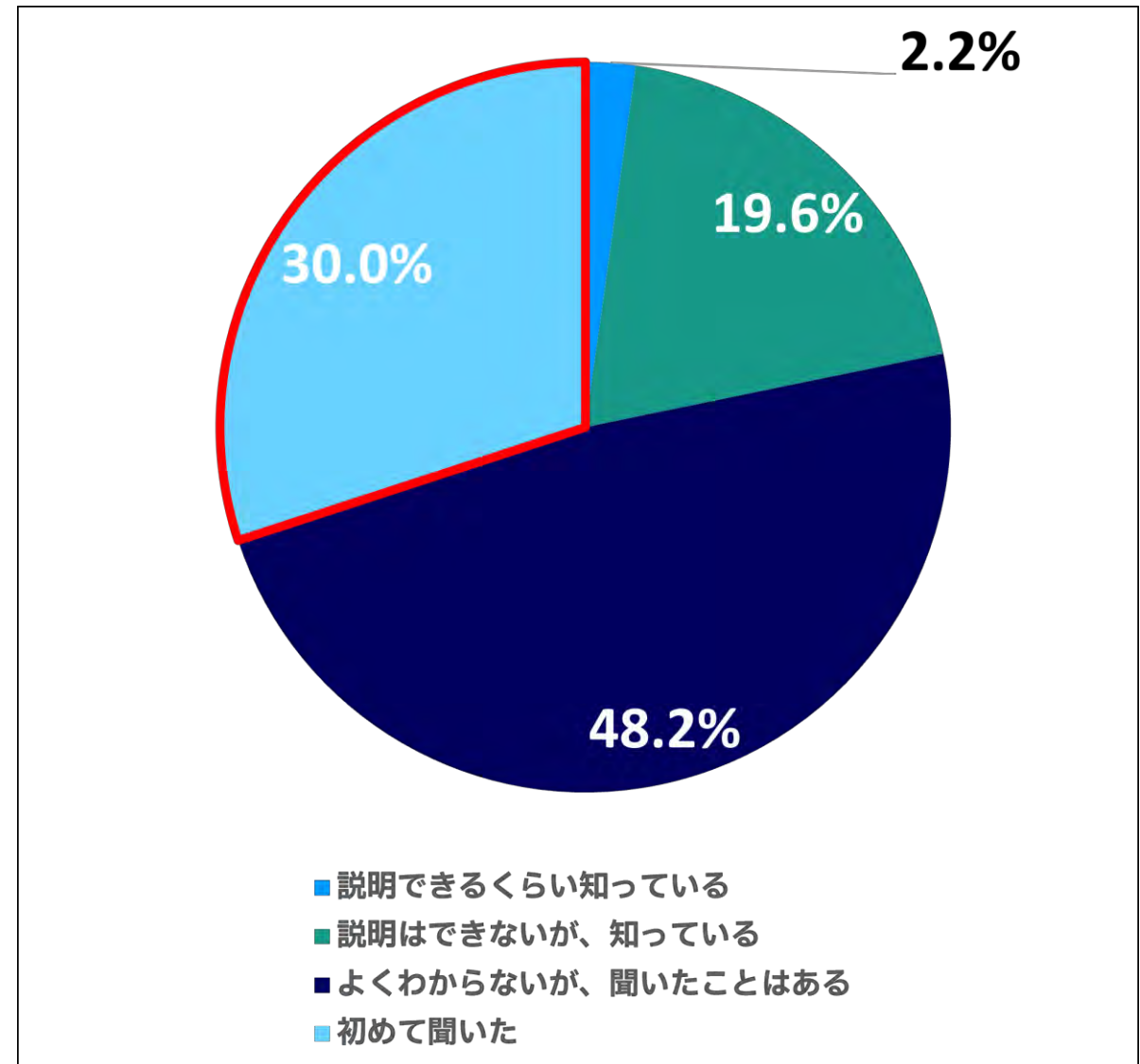
- ① 10,000人のうち、遺伝子治療という言葉聞いたことがない人は3,003人。
- ② 遺伝子治療という言葉聞いたことのある人のうち、98.4%は遺伝子治療への誤解/理解不足がある。
- ③ 遺伝子治療に対して「怖い、危険、不安」という印象をもつ人は46%おり、情報不足や理解不足が主な理由。
- ④ 遺伝子治療に対して「期待している、革新的、他の治療法より優れている」という印象をもつ人は51.5%おり、技術の革新性や、患者さんにもたらす効果の大きさが主な理由。
- ⑤ 過去1年間で遺伝子治療について、受動的に見聞きした人は28.5%で、能動的に調べたことのある人は5.9%。

調査結果

※スクリーニングQ1とQ3は本調査対象外の方を抽出するための質問のため、本資料からは除外
※グラフは四捨五入のため、内訳の合計が100%にならない場合があります

「遺伝子治療」という言葉を聞いたことがない人は30%いる

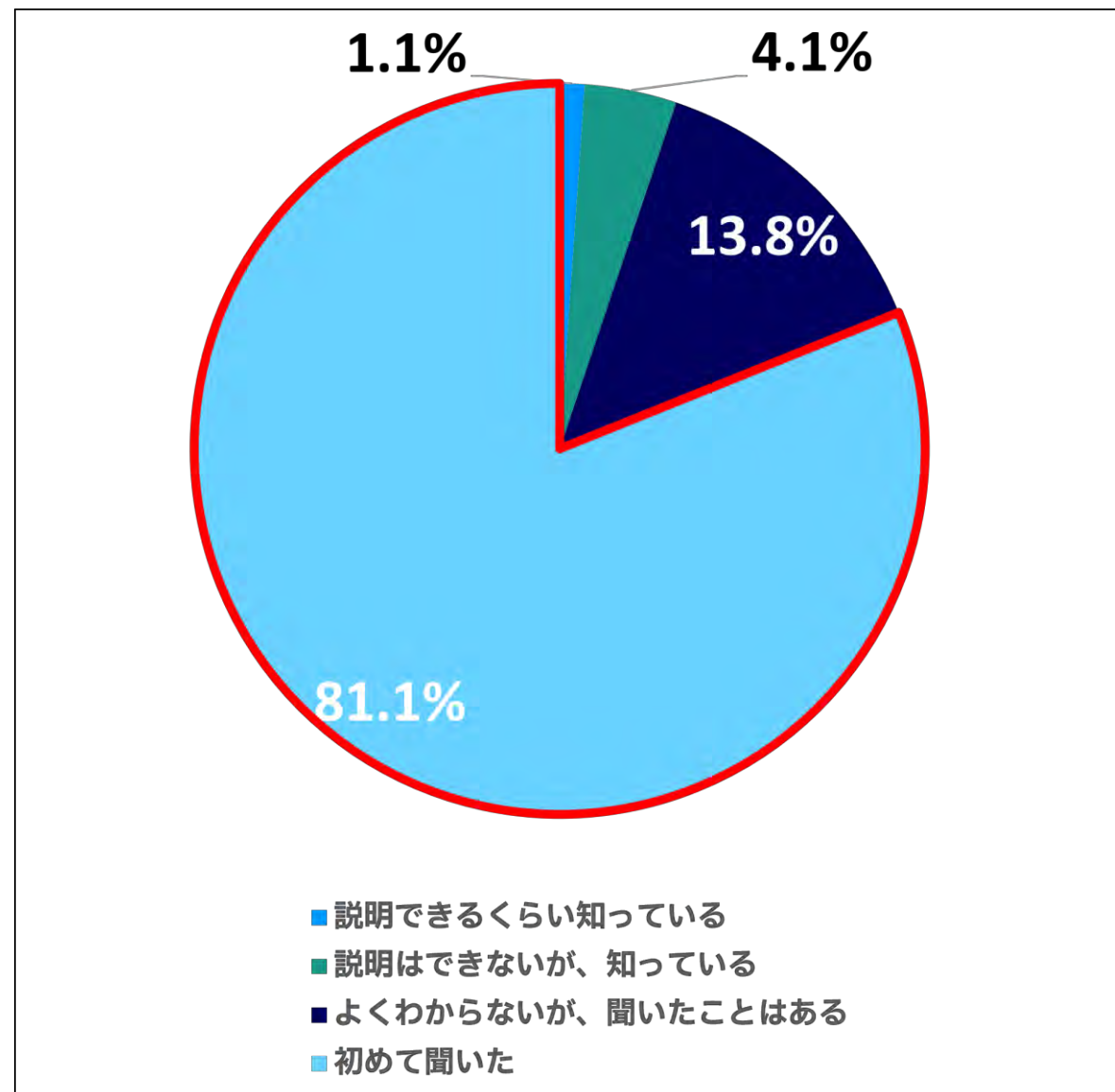
【スクリーニングQ2】 n=10,000（単一回答）
あなたは遺伝子治療という言葉
どの程度知っていますか。



81.1%が「ヘルスリテラシー」という言葉を聞いたことがない

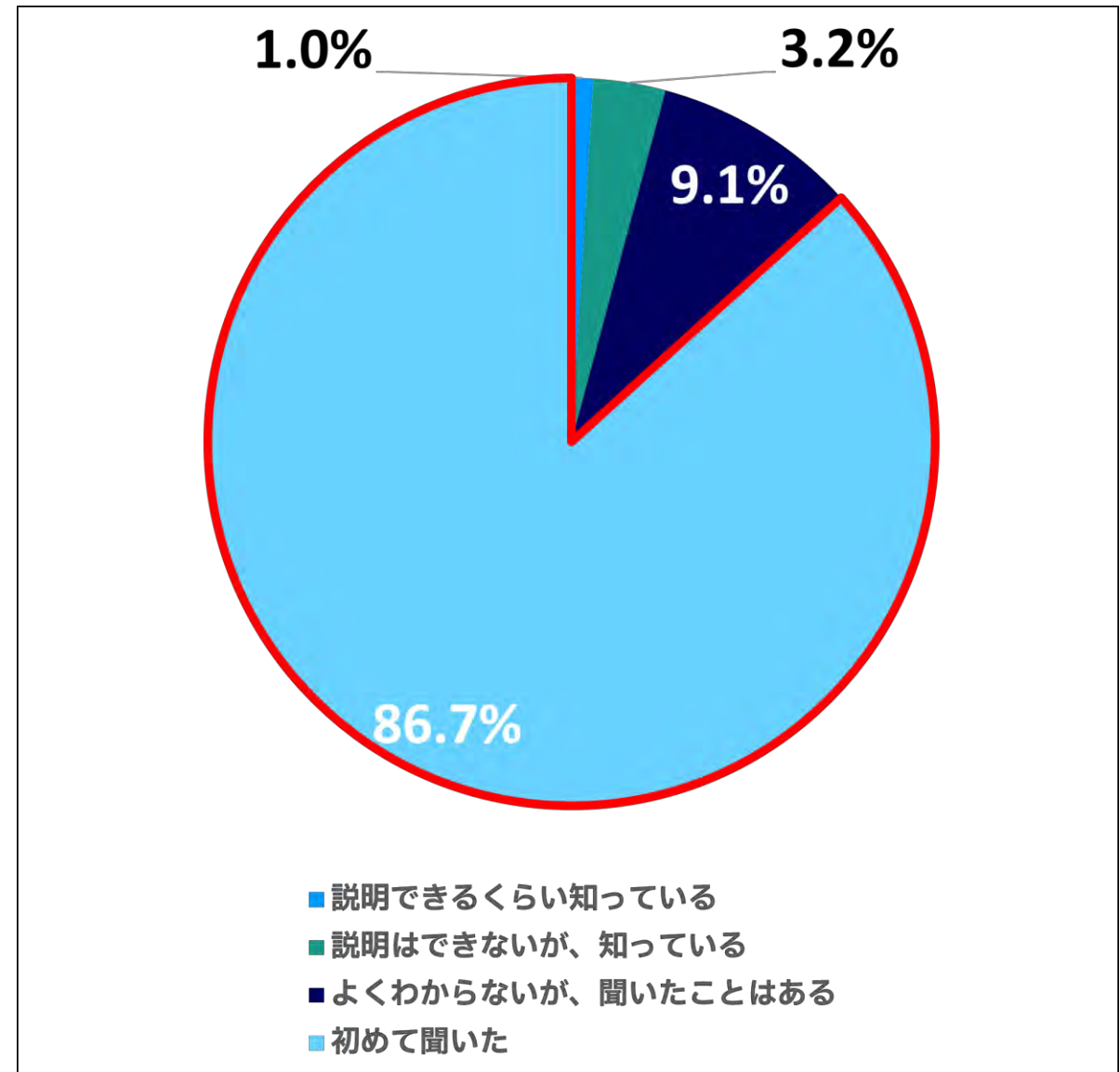
[スクリーニングQ4] n=10,000 (単一回答)

あなたはヘルスリテラシーという言葉
どの程度知っていますか。



86.7%が「Shared Decision Making」という言葉を聞いたことがない

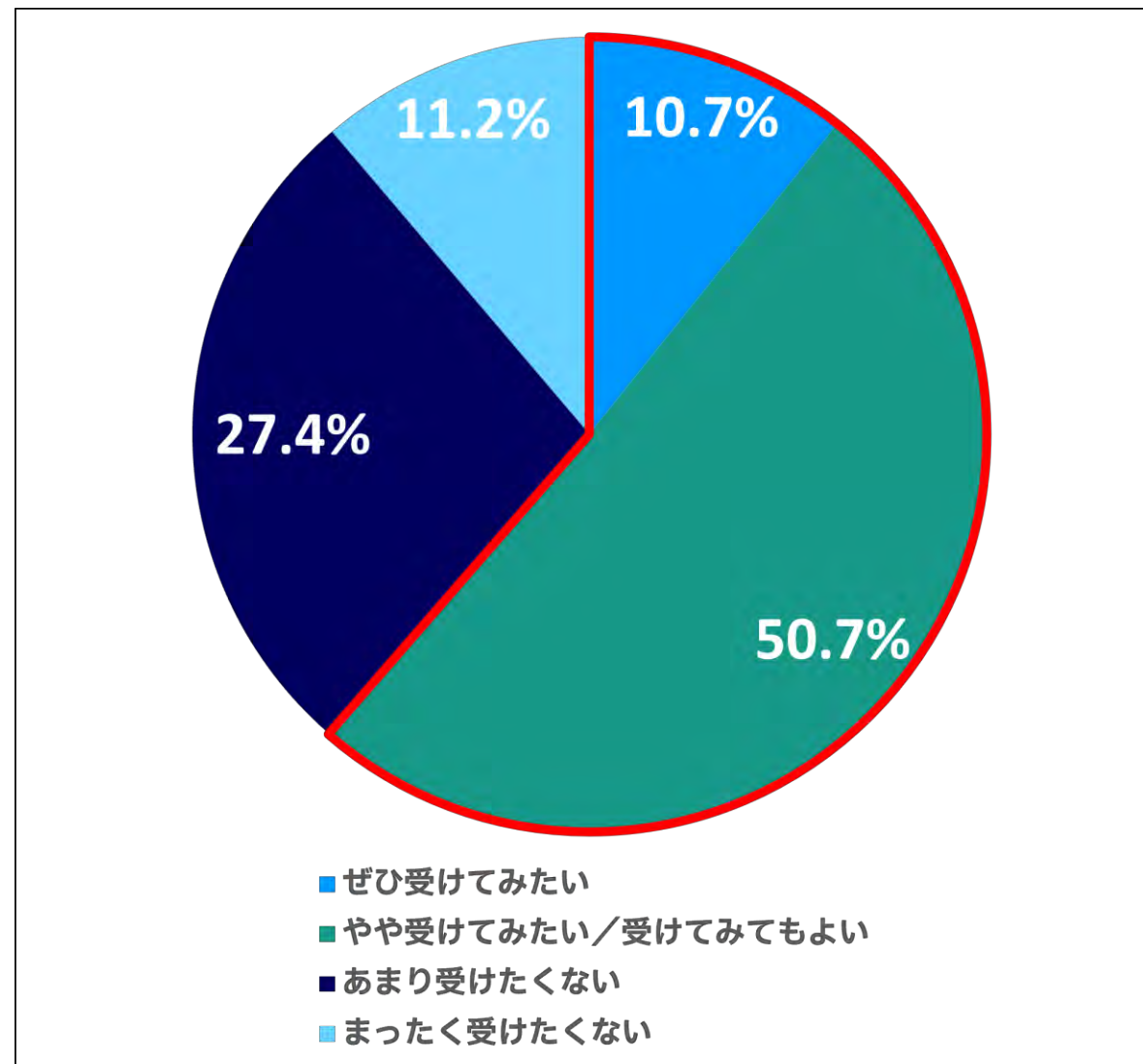
[スクリーニングQ5] n=10,000 (単一回答)
あなたはSDM (Shared Decision Making: 共同意思決定) という言葉をどの程度知っていますか。



自分が遺伝性疾患に罹患した場合、遺伝子治療を受けてみたいと感じる人は61.4%

[Q1] n=829 (単一回答)

もしあなたが遺伝子が原因の疾患に罹患して、治療法の選択肢の1つとして遺伝子治療があった場合、遺伝子治療を受けてみたいと思いますか。



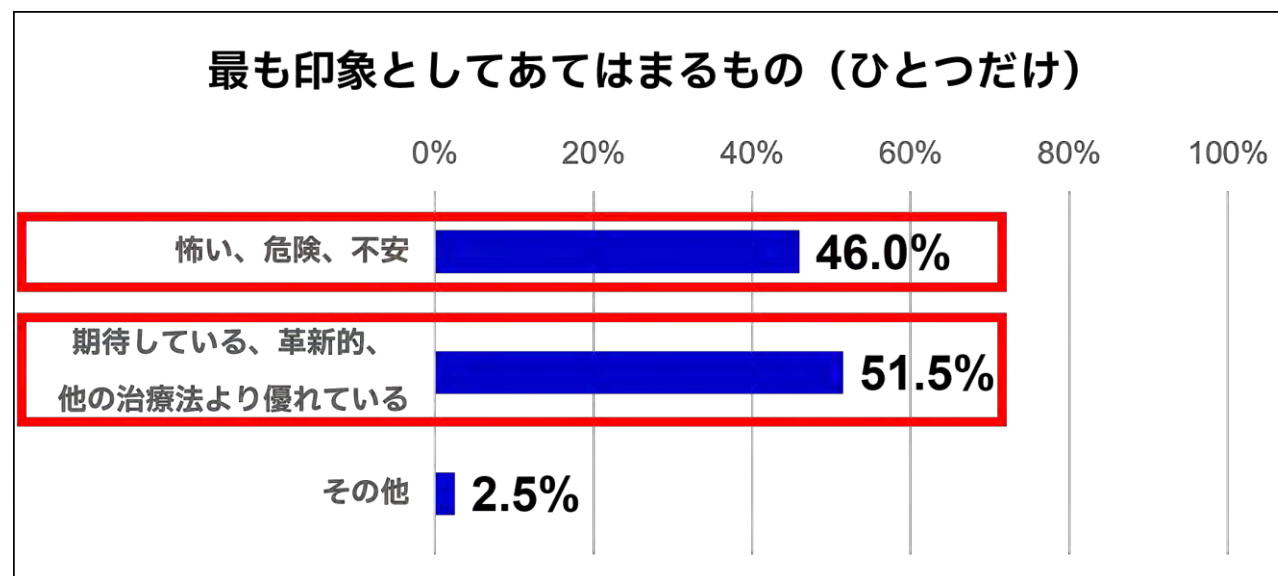
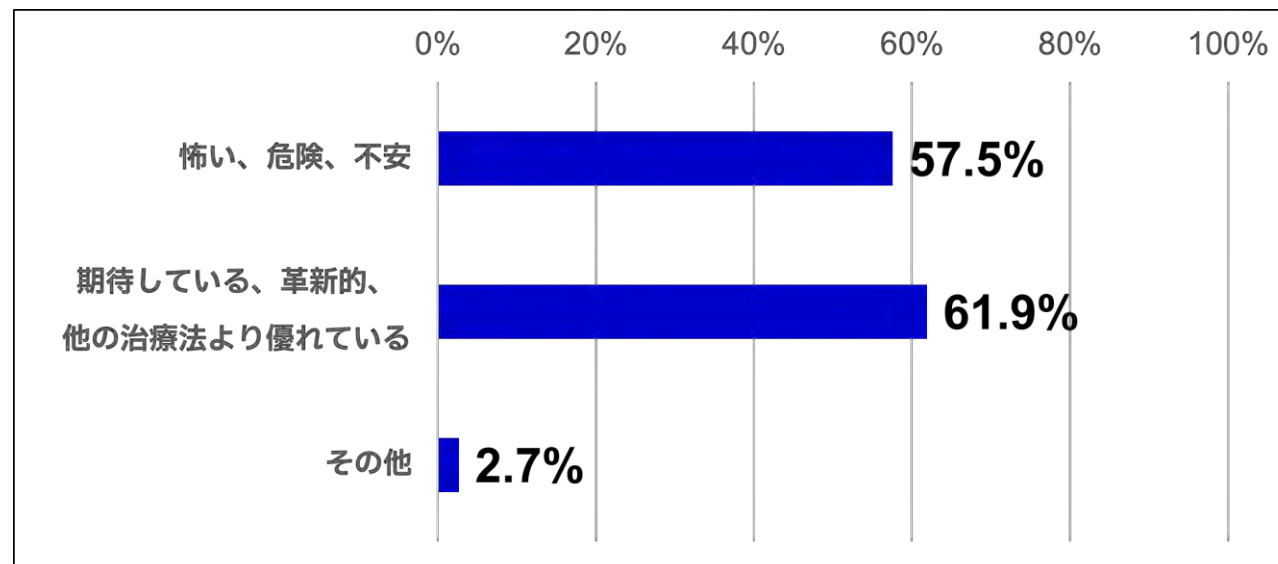
遺伝子治療に対する印象はネガティブ、ポジティブでほぼ同等

[Q2] n=829（単一回答、複数回答）

遺伝子治療の印象について、
あてはまるものをすべてお選びください。
また、その中から最も印象として
あてはまるものをひとつだけお選びください。

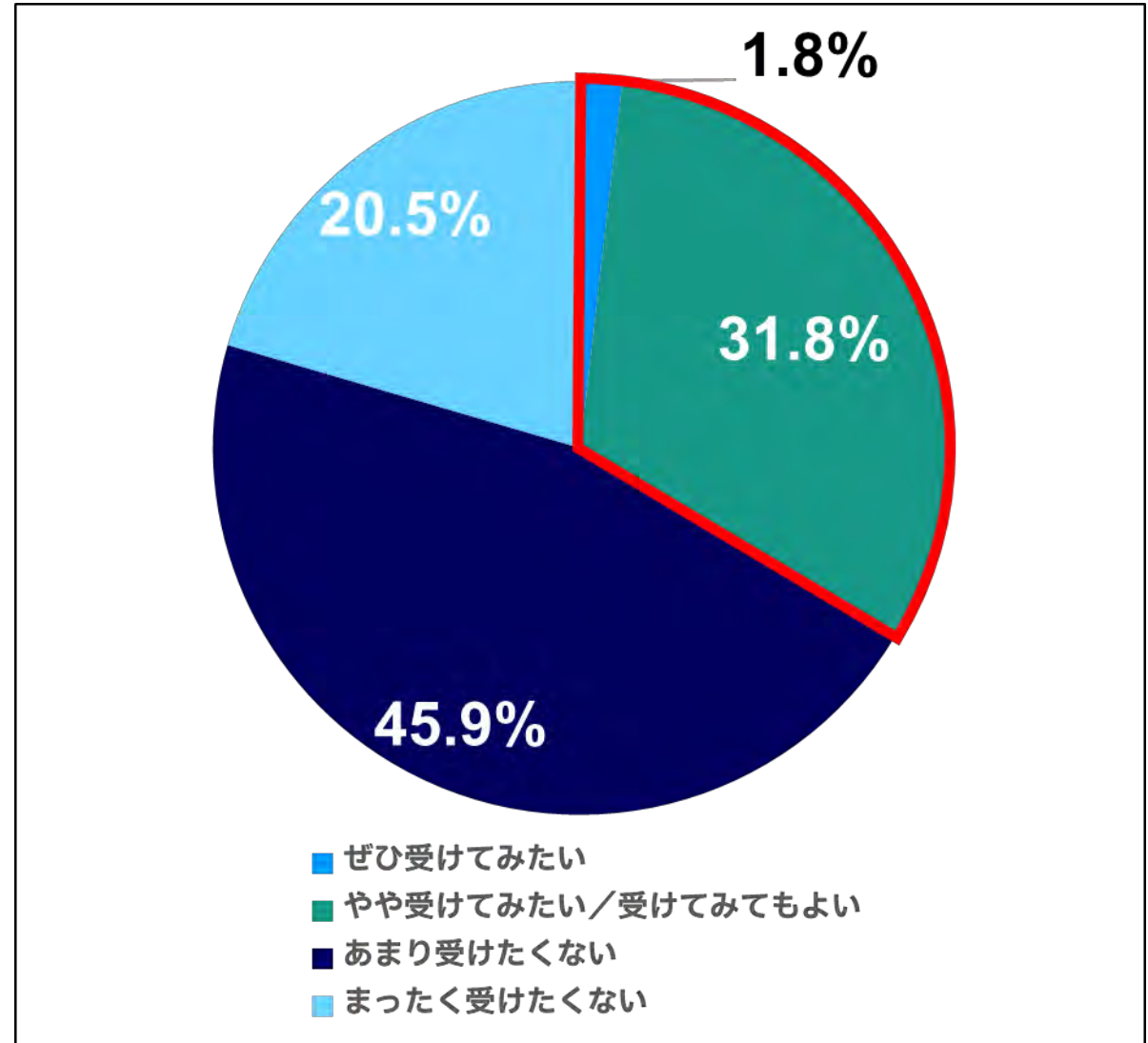
「その他（22件）」の回答例

- よく分からない（10件）
- 高額（5件）
- 特にない（3件）
- 効果が不明
- 将来への影響が不安
- やりすぎ
- 治った事例を知らないので無駄 など



遺伝子治療への最も強い印象がネガティブな人でも、遺伝子治療を受けたいと思う人は33.6%いる

Q2で遺伝子治療について最もあてはまる印象として「怖い、危険、不安」と回答した人：n=381



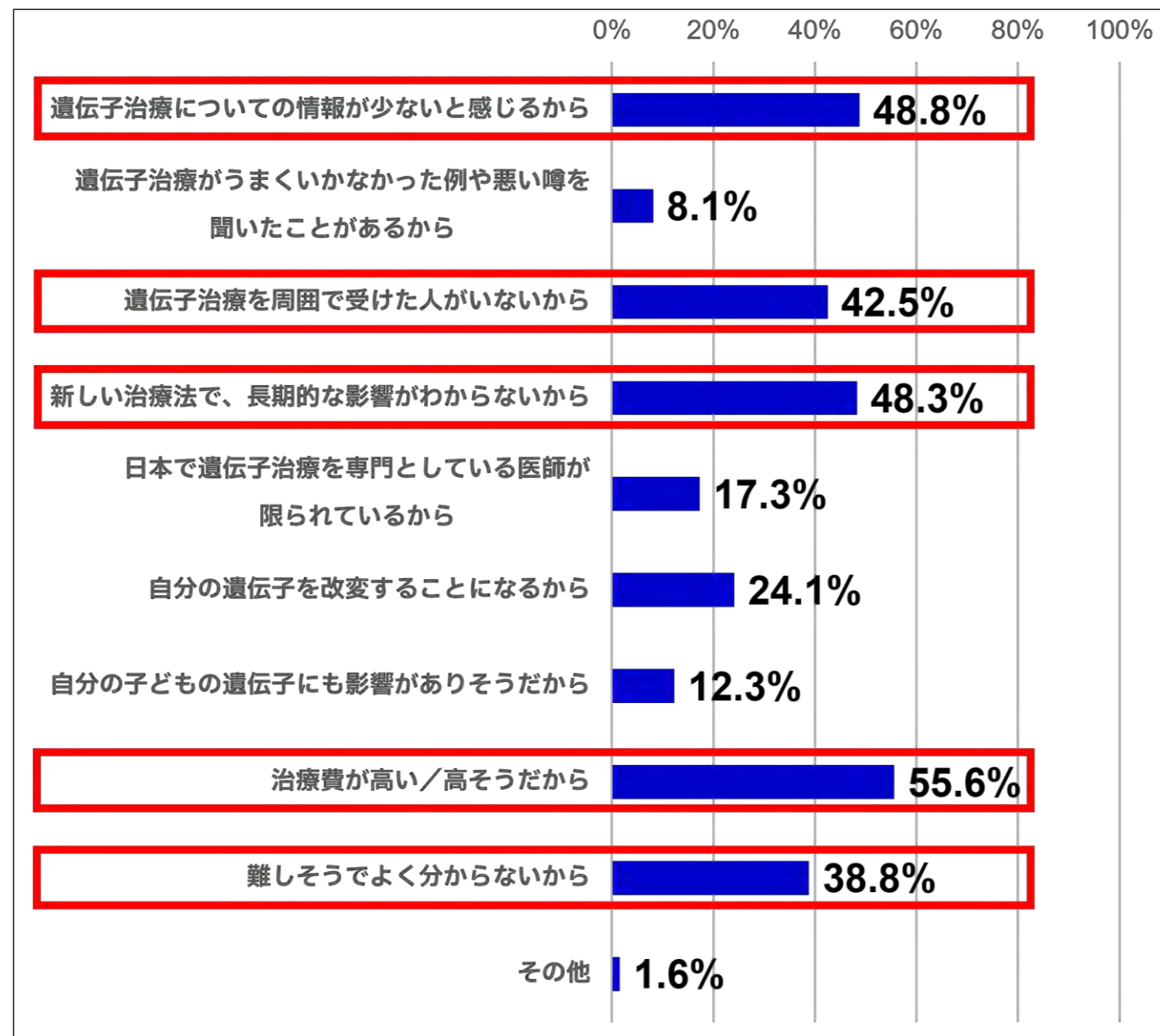
遺伝子治療へのネガティブな印象は、 情報不足（身近な例、長期的な影響、 治療費）や理解不足が主な理由

[Q3_1] n=381（複数回答）

遺伝子治療の印象として「怖い、危険、不安」と回答された方にお聞きします。そのようにお答えした理由を教えてください。（いくつでも）

「その他（6件）」の回答例

- ・ 将来異常なく過ごせるか不安
- ・ 遺伝子の欠陥を知るのが怖い
- ・ 自然に逆らうことが良いのか
- ・ 遺伝子組み換えは邪道だと思う
- ・ 何が正確な情報か分からない
- ・ 知識不足で判断不可



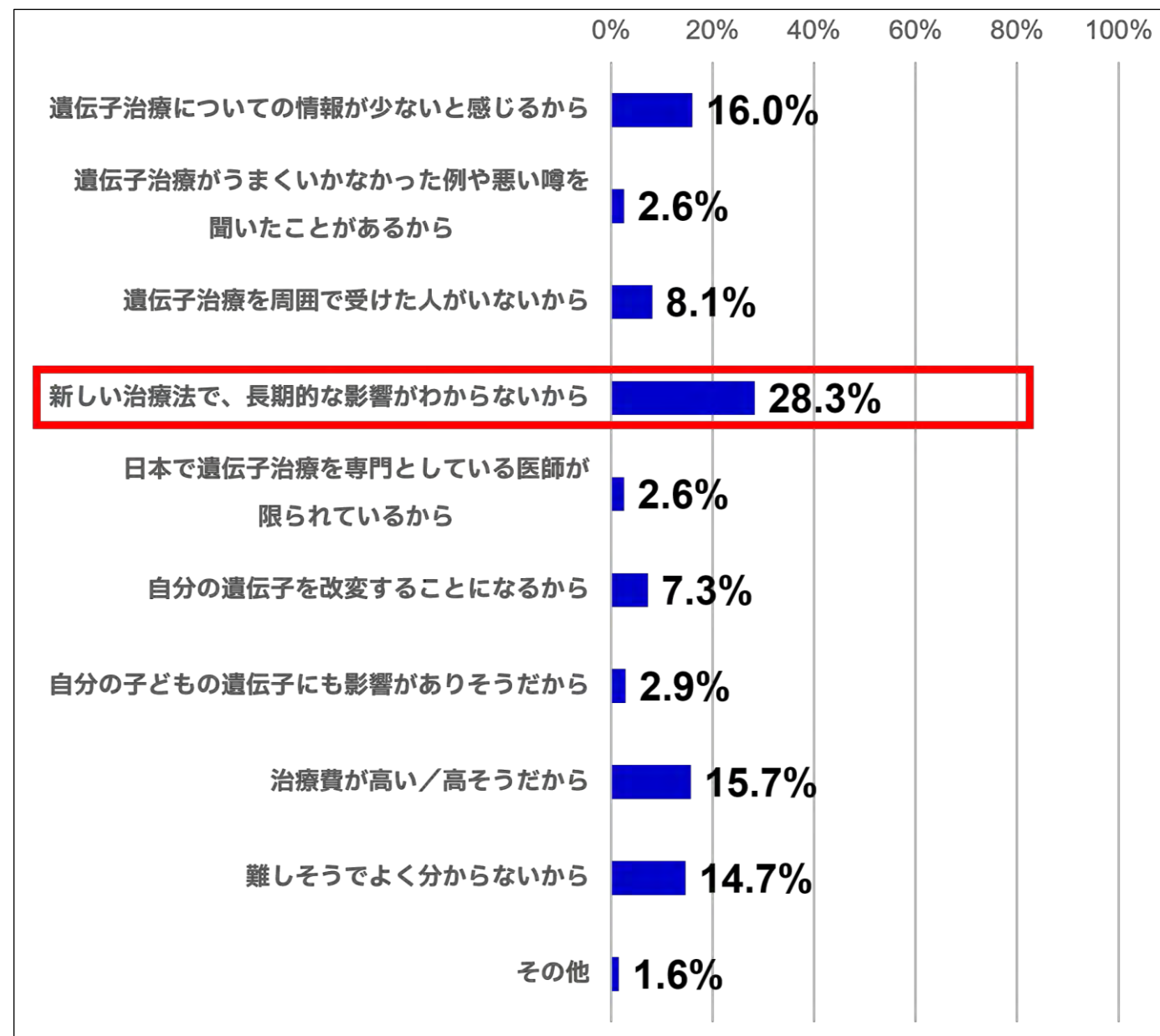
遺伝子治療へのネガティブな印象は、 長期的な影響への懸念が理由として最多

[Q3_2] n=381 (単一回答)

遺伝子治療の印象として「怖い、危険、不安」と回答された方にお聞きします。
この中から最もあてはまる理由を
ひとつだけ教えてください。(ひとつだけ)

「その他（6件）」の回答例

- ・ 将来異常なく過ごせるか不安
- ・ 遺伝子の欠陥を知るのが怖い
- ・ 自然に逆らうことが良いのか
- ・ 遺伝子組み換えは邪道だと思う
- ・ 何が正確な情報が分からない
- ・ 知識不足で判断不可



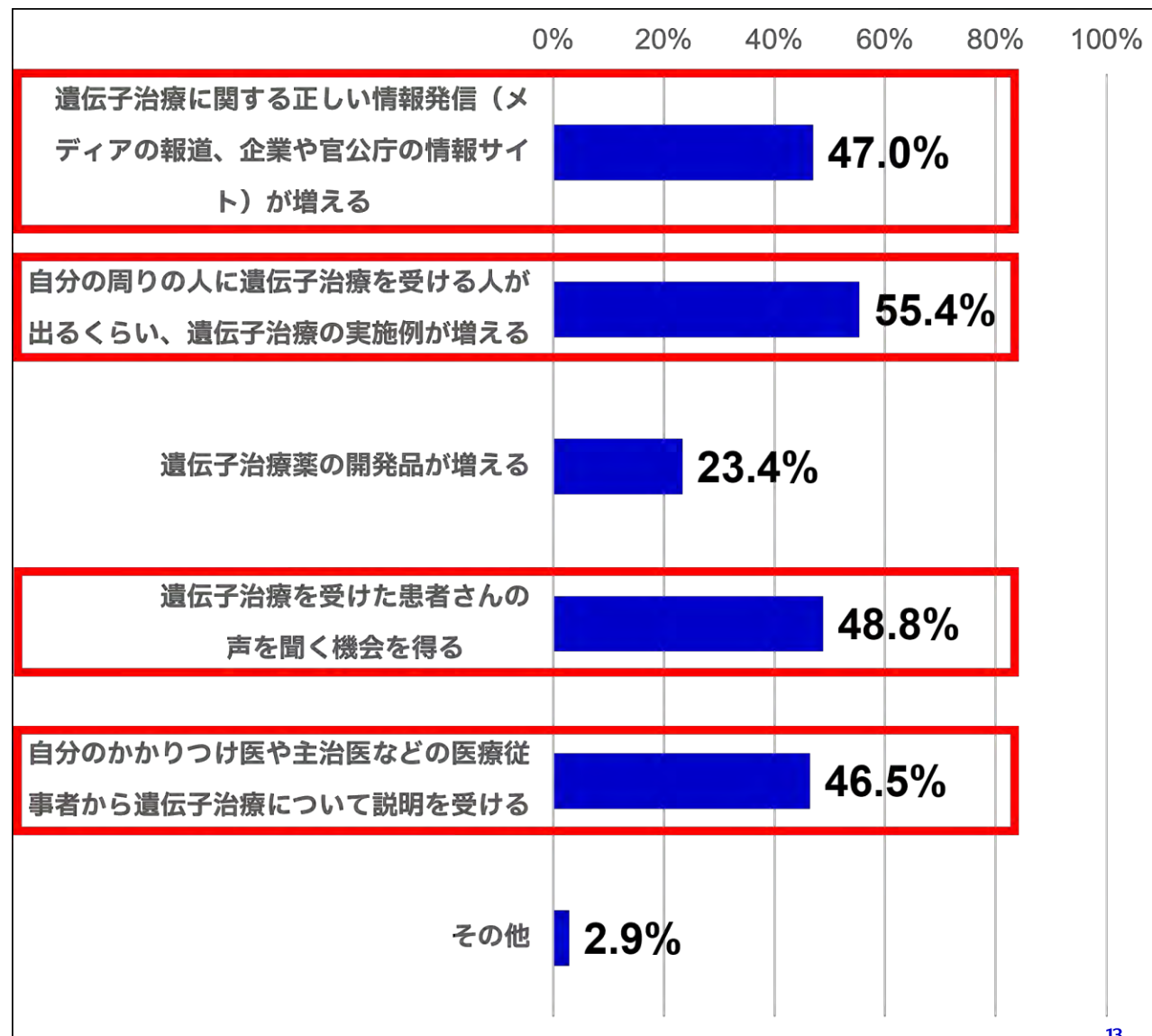
遺伝子治療へのネガティブな印象を減少させるためには、 報道、情報サイト、医療従事者、周囲の人間などさまざまな角度からの情報発信が必要

[Q4_1] n=381（複数回答）

遺伝子治療の印象として「怖い、危険、不安」と回答された方にお聞きします。
あなたが遺伝子治療に対して抱く「怖い、危険、不安」という印象を軽減させるには、
以下のうちどの方法が効果があると思いますか。
(いくつでも)

「その他（11件）」の回答例

- 何を聞いても無くならない（4件）
- 分からない（3件）
- 書籍から情報を得る
- 遺伝子治療治療が安くなる
- 遺伝子治療自体をやめる など



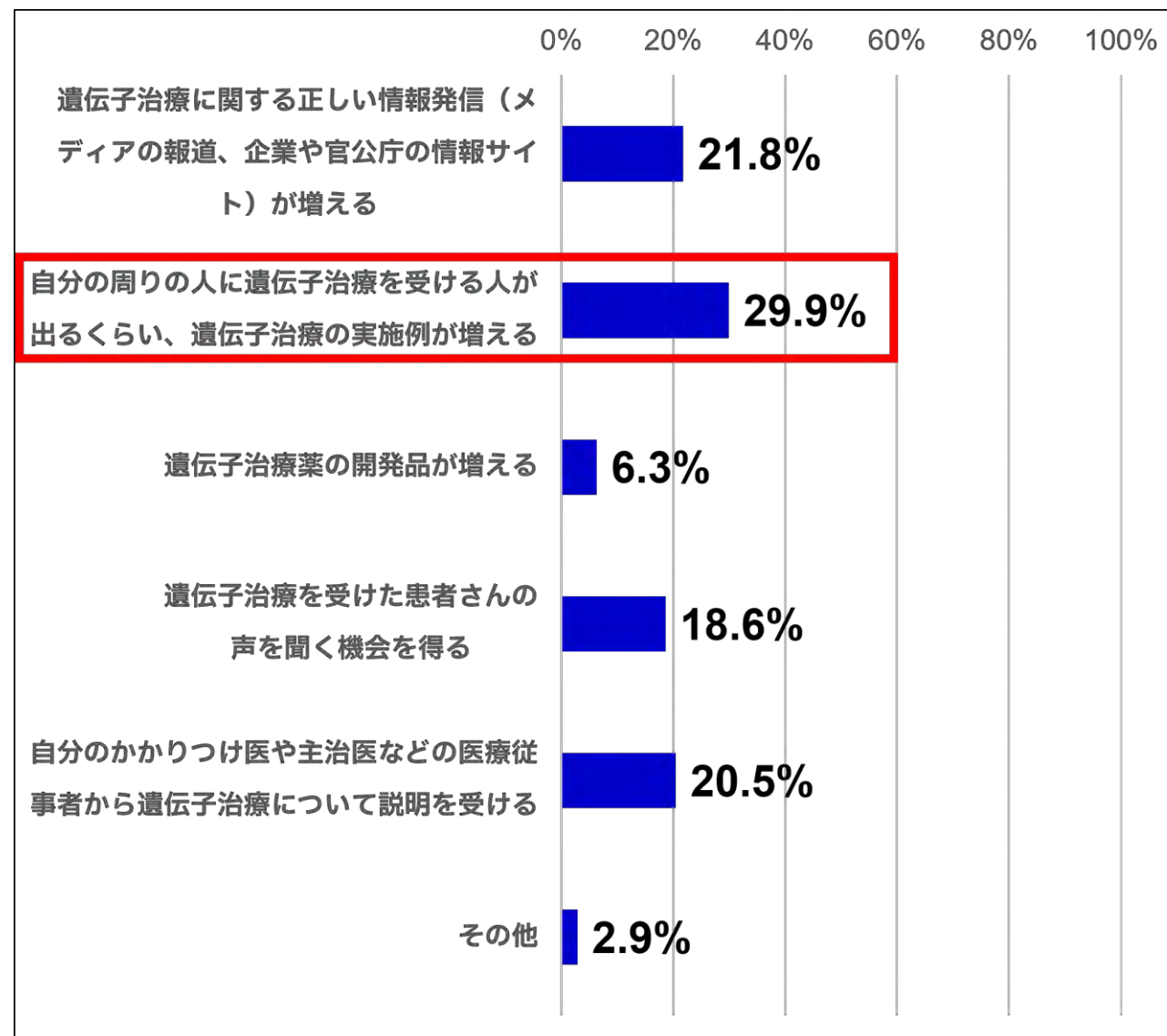
遺伝子治療へのネガティブな印象の軽減には、普及（実施例の増加）が理由として最多

[Q4_2] n=381（単一回答）

遺伝子治療の印象として「怖い、危険、不安」と回答された方にお聞きします。あなたが遺伝子治療に対して抱く「怖い、危険、不安」という印象を軽減させるために、最も効果があると思うものをひとつだけお選びください。（ひとつだけ）

「その他（11件）」の回答例

- 何を聞いても無くならない（4件）
- 分からない（3件）
- 書籍から情報を得る
- 遺伝子治療治療が安くなる
- 遺伝子治療自体をやめる など

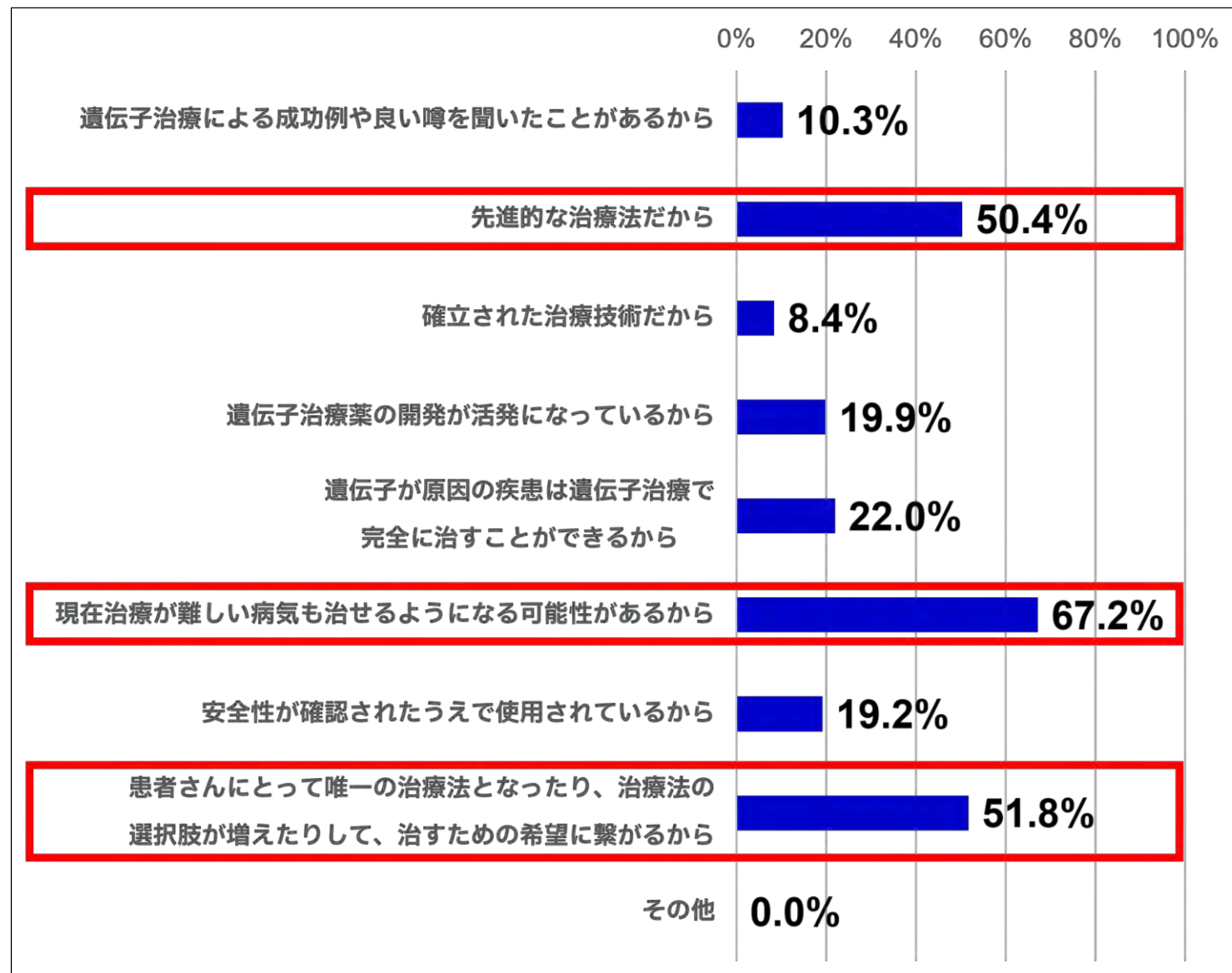


遺伝子治療へのポジティブな印象は、技術の革新性や、患者さんへもたらす効果の大きさが主な理由

【Q5_1】 n=427（複数回答）

遺伝子治療の印象として「期待している、革新的、他の治療法より優れている」と回答された方にお聞きします。

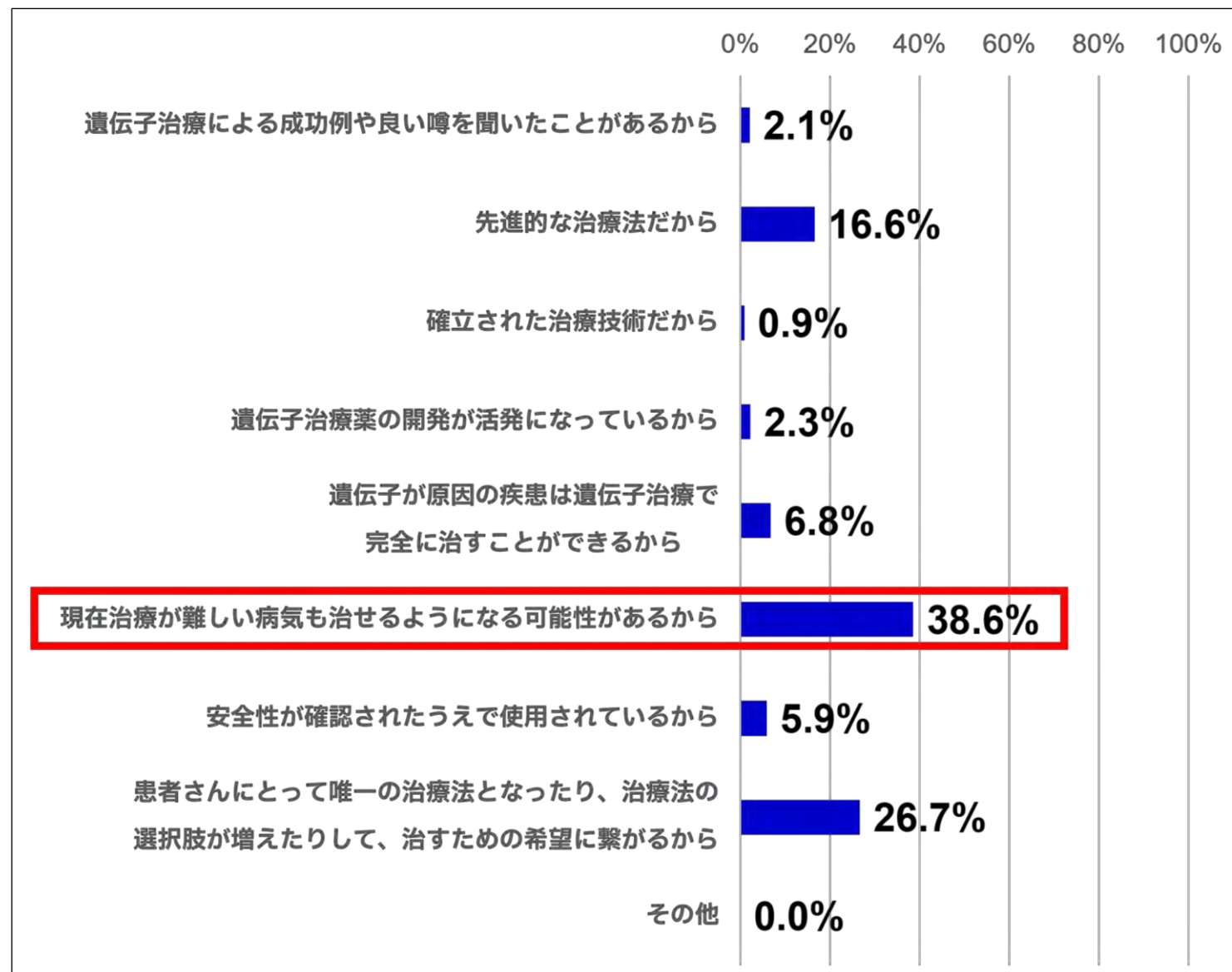
そのようにお答えした理由を教えてください。（いくつでも）



遺伝子治療へのポジティブな印象は、治療技術への期待が理由として最多

[Q5_2] n=427 (単一回答)

遺伝子治療の印象として「期待している、革新的、他の治療法より優れている」と回答された方にお聞きします。この中から最もあてはまる理由をひとつだけ教えてください。
(ひとつだけ)

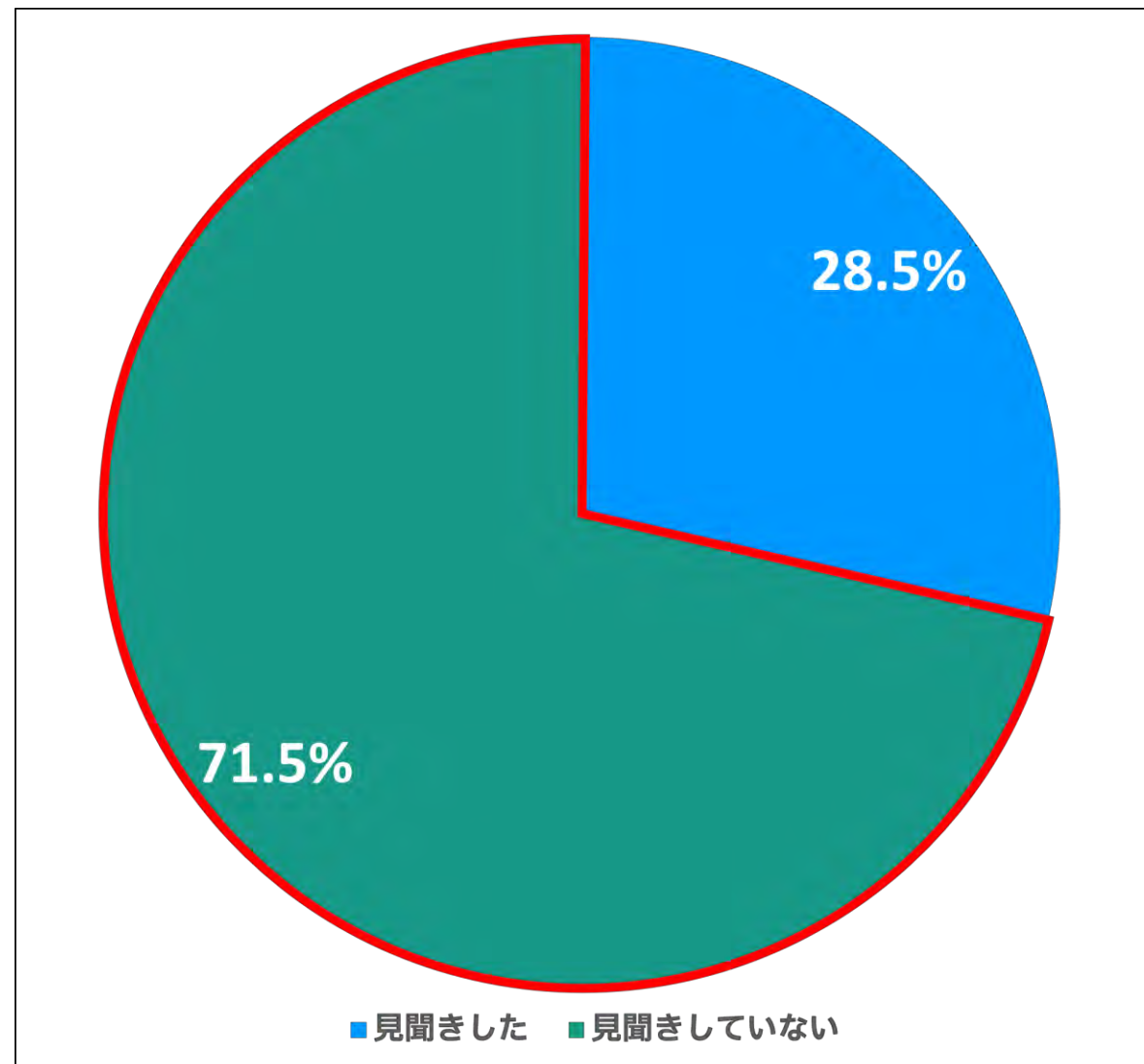


過去1年間、遺伝子治療に関する情報を見聞きしなかった人は71.5%

[Q6] n=829 (単一回答)

あなたは過去1年間で遺伝子治療に関する情報を見聞きしたことがありますか。

※ご自身で能動的に調べた場合を除いてお答えください。

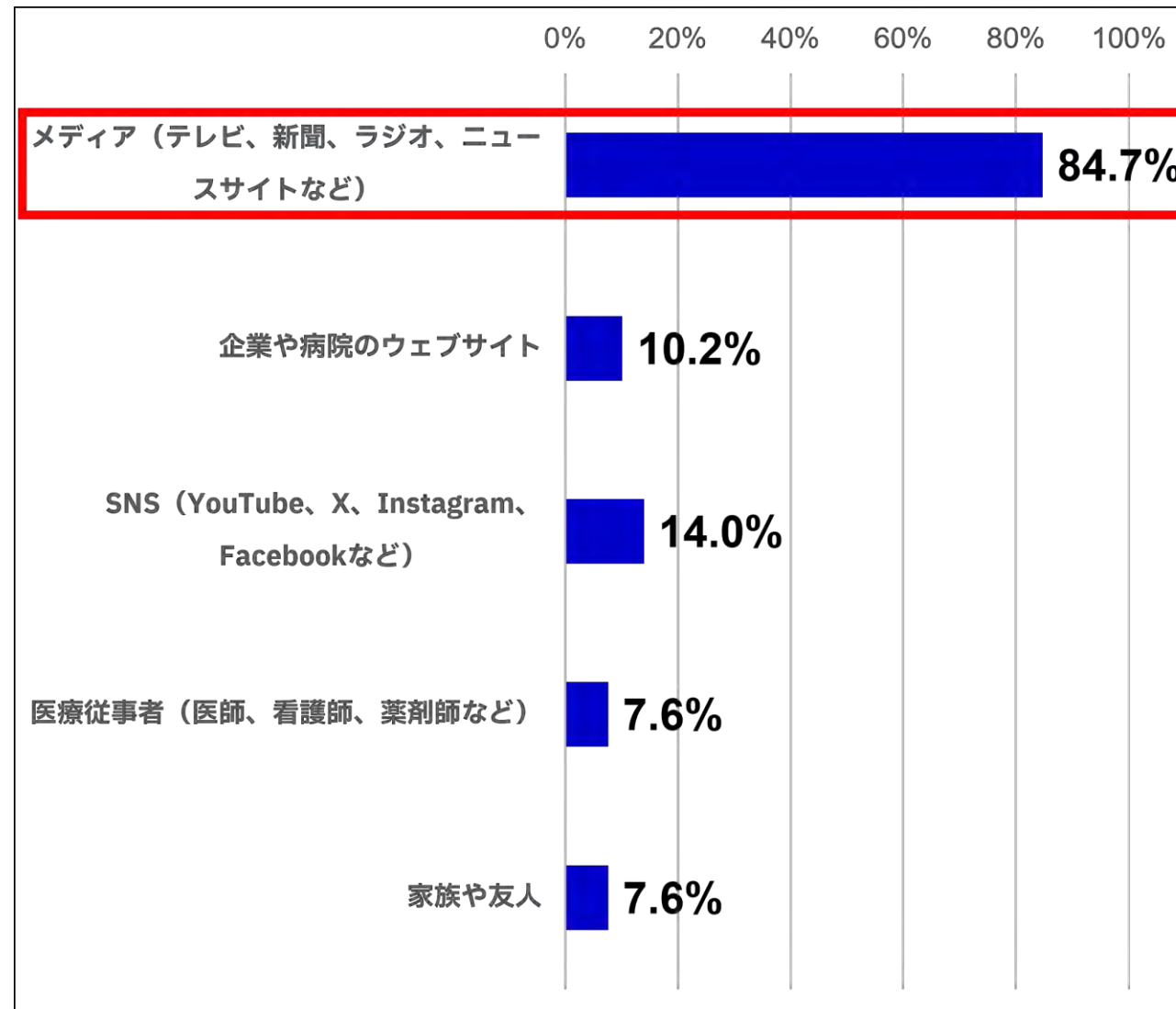


過去1年間で遺伝子治療に関する情報を見聞きした人の84.9%は、 メディアから情報を得ていた

[Q7] n=236（複数回答）

あなたが過去1年間で遺伝子治療に関する情報を見聞きした媒体として、
あてはまるものをすべてお選びください。
（いくつでも）

※ご自身で能動的に調べた場合を除いて
お答えください

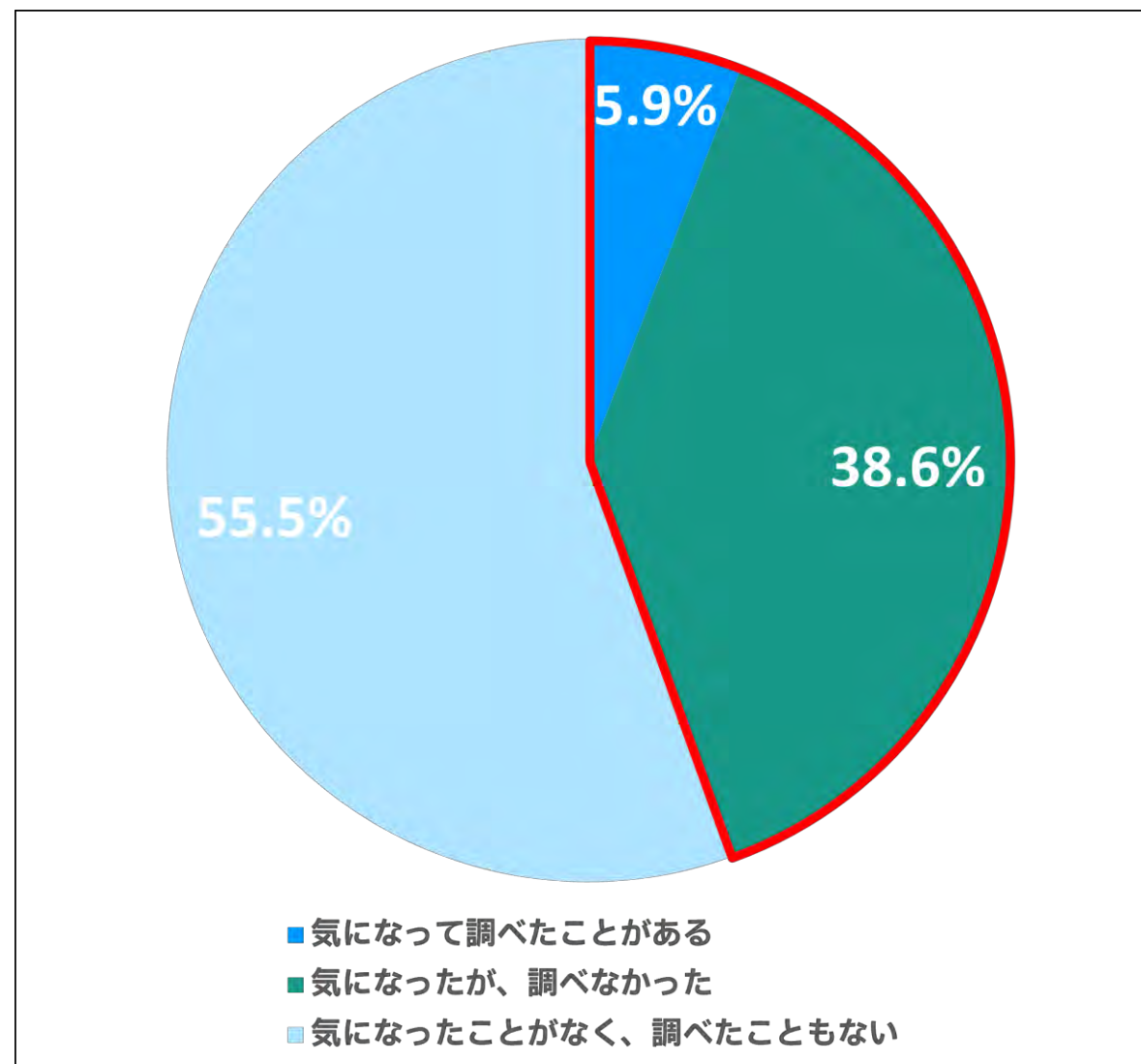


過去1年間、遺伝子治療について実際に調べた人は5.9%だが、 気になった人は44.5%いる

[Q8] n=829 (単一回答)

あなたは過去1年間で遺伝子治療について調べたことはありますか。

※ご自身で能動的に調べた経験についてお答えください。



過去1年間で遺伝子治療について調べた人は、 主にメディア、情報サイト、SNSから情報を得ていた

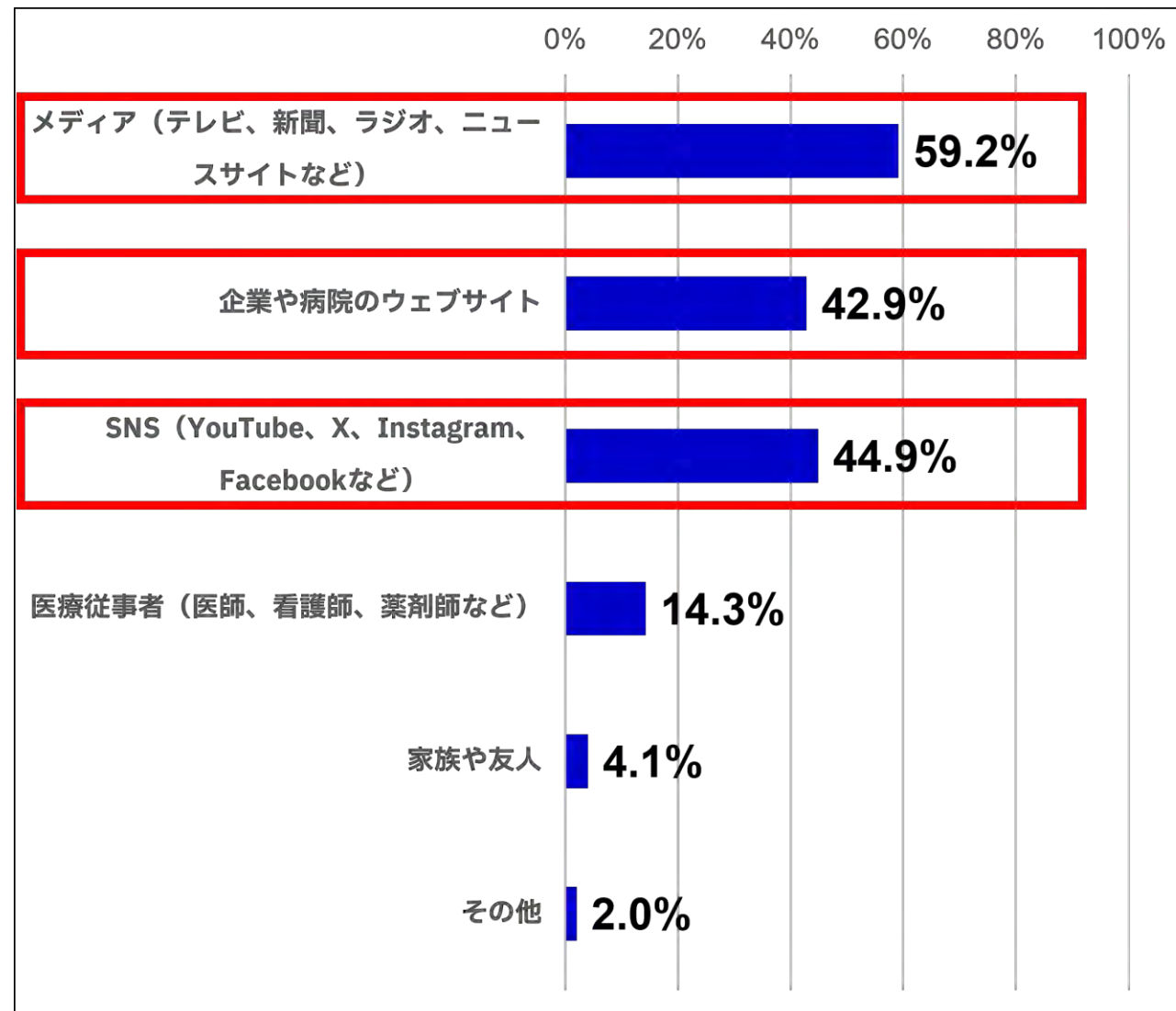
[Q9] n=49 (複数回答)

あなたが過去1年間で遺伝子治療に関して調べた媒体として、あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

※ご自身で能動的に調べた経験についてお答えください

「その他(1件)」の回答例

- 遺伝子治療に関するウェブサイト



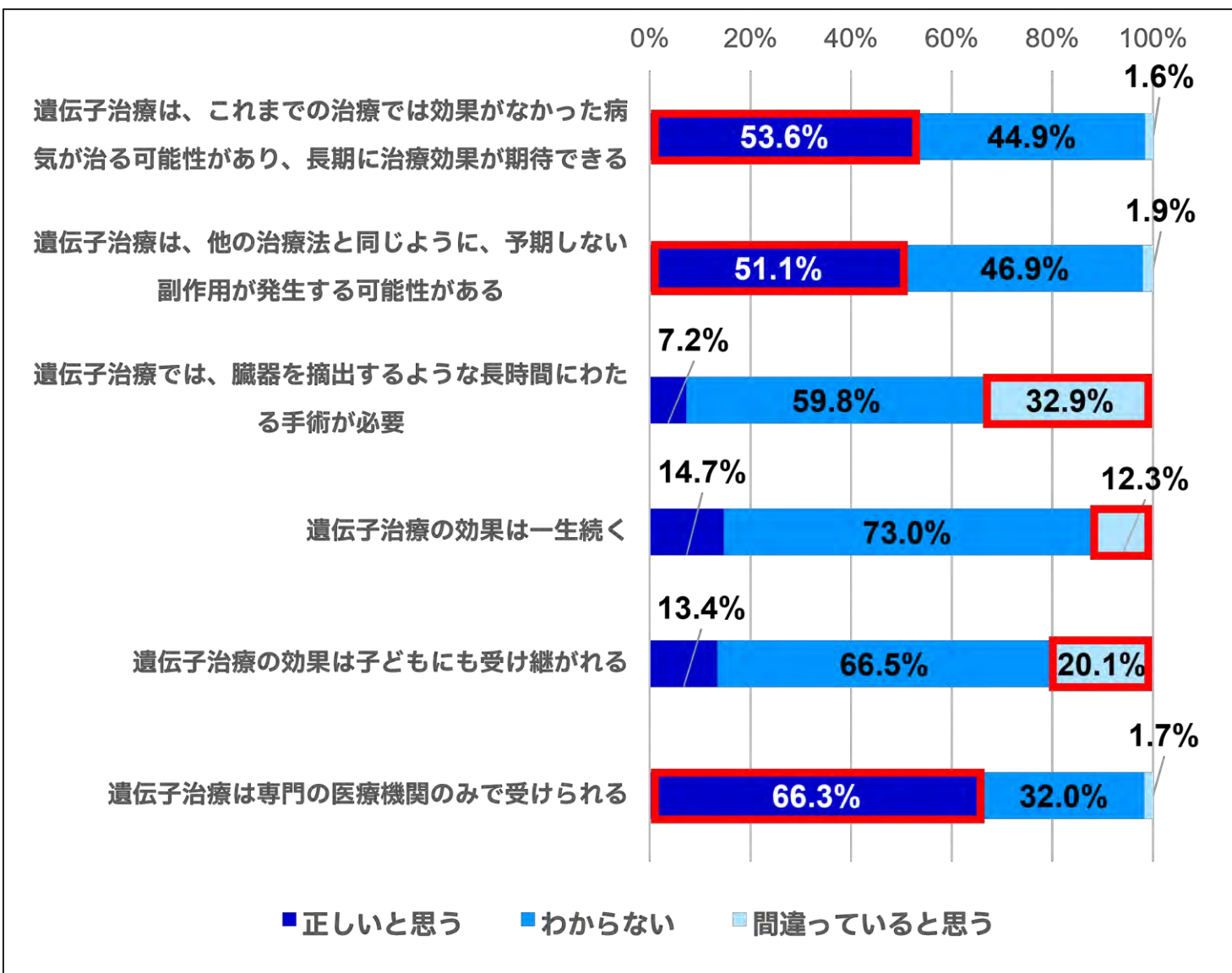
98.4%が遺伝子治療について誤解を抱いている/理解が不足している

[Q10] n=829 (単一回答)

遺伝子治療に関する以下の文章について、あなたの考えに最もあてはまるものをそれぞれお選びください。

※赤で囲った部分が正解選択者

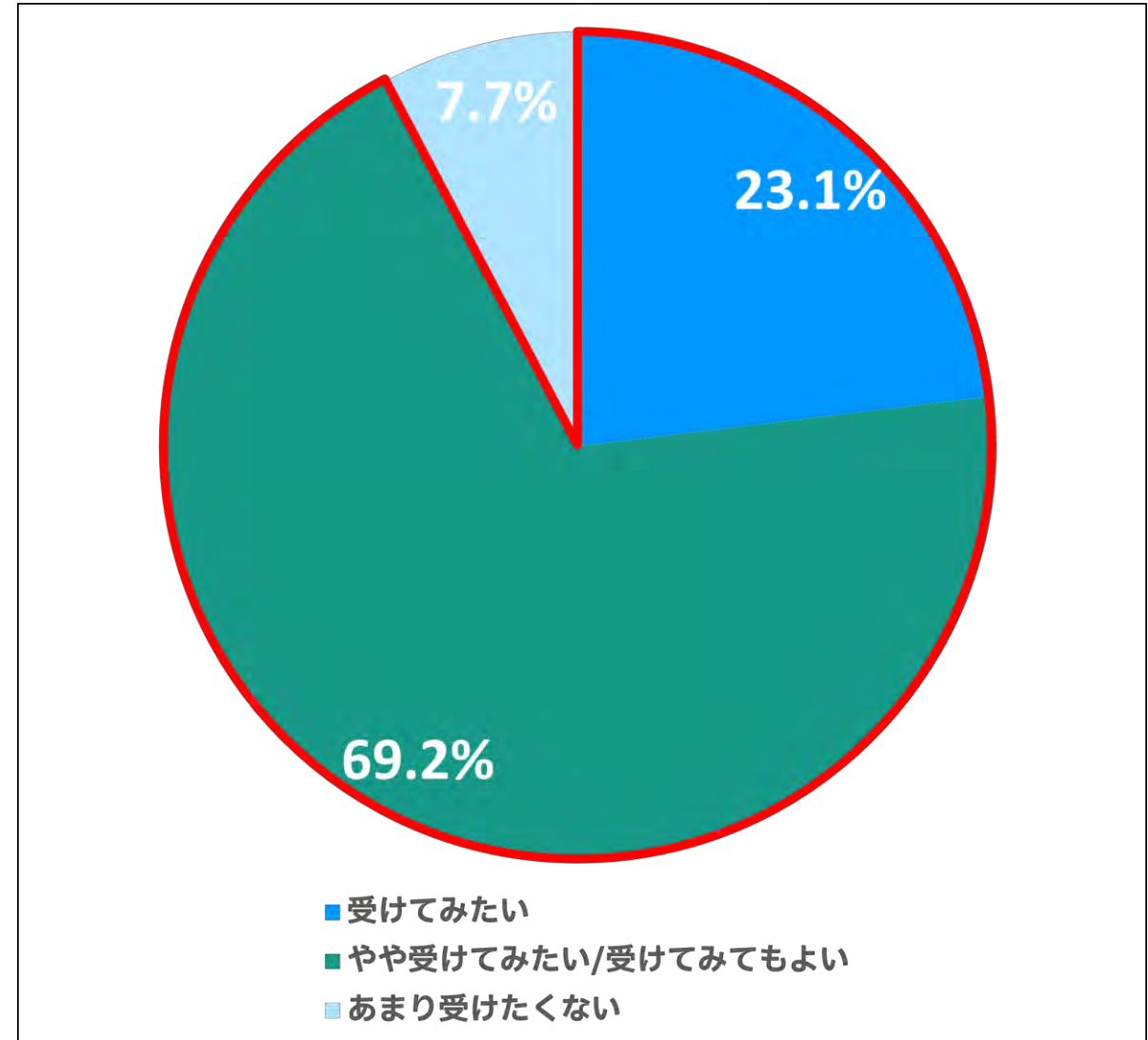
※全問正解者は829人中13人



遺伝子治療への正しい知識をもつことで、受療行動へ繋がることが示唆される

n=13

Q10を全問正解した人のうち、92%が
「遺伝性疾患に罹患した場合、遺伝子治療を
受けてみたい」と回答した。

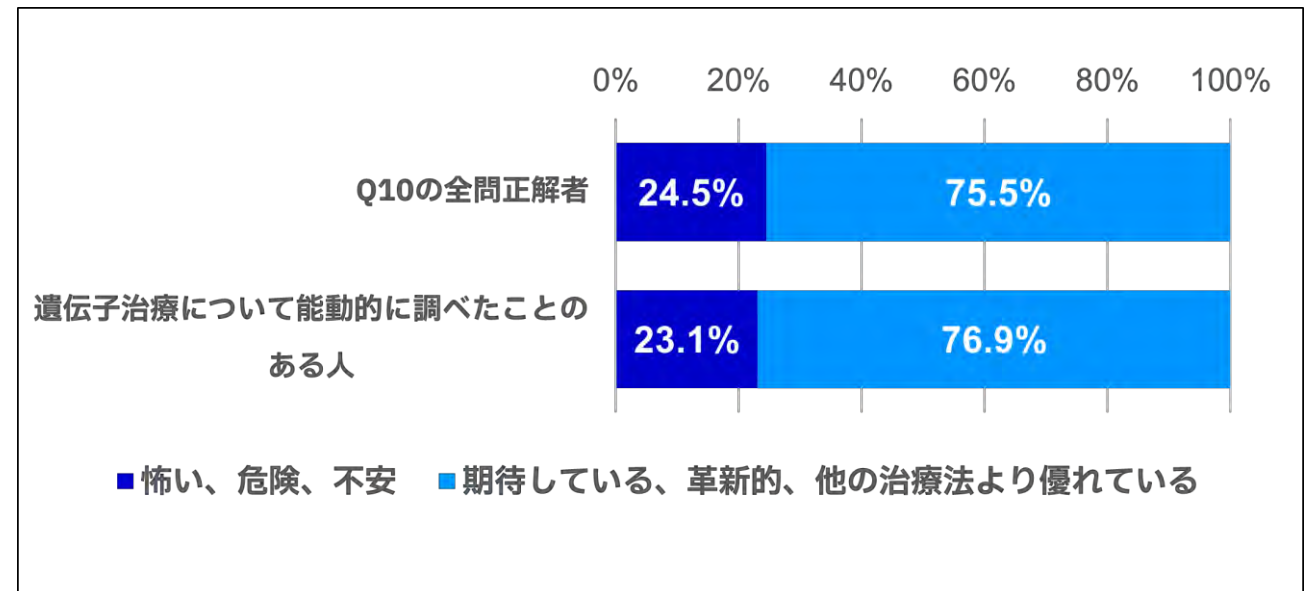


遺伝子治療に関する知識を身に付ければ、遺伝子治療への印象が良くなることが示唆される

Q10の全問正解者：n=13

遺伝子治療について能動的に調べたことがある人：n=49

※全員n=829を対象とした結果では、
ネガティブ：46.0%、ポジティブ51.5%

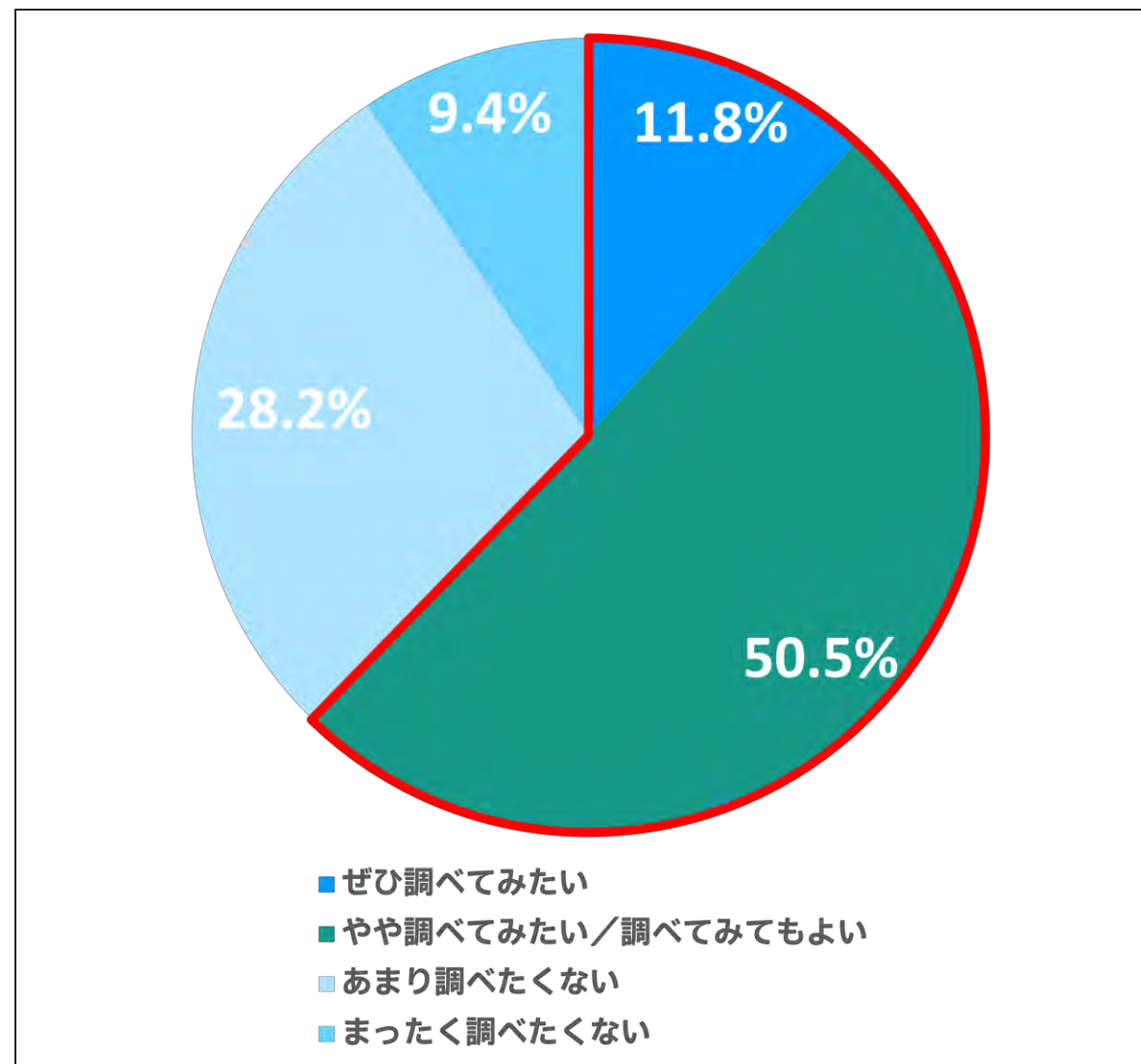


遺伝子診断を受けてみたいと回答した人は62.3%

[Q11] n=829 (単一回答)

遺伝子診断では、病気の原因となりうる遺伝子の有無（遺伝子に異常があるかどうか）を調べることができます。

この説明を聞いて、あなたは自分の遺伝子を調べてみたいと思いますか。



遺伝子診断を受けたい理由として、発症するかもしれない疾患を調べたい、が最多

[Q12] n=517 (複数回答)

自分の遺伝子を「調べてみたい／調べてみてもよい」と回答された方にお聞きします。
そのようにお答えした理由を教えてください。
(いくつでも)

「その他（3件）」の回答例

- 検査に危険性や副作用がないか分からないから不安
- 特にない など

